

# ダイワ米国リート・プラス

(毎月分配型) 為替ヘッジあり/為替ヘッジなし  
(年2回決算型) 為替ヘッジあり/為替ヘッジなし

## 運用報告書(全体版)

毎月分配型

第100期	(決算日 2024年9月26日)
第101期	(決算日 2024年10月28日)
第102期	(決算日 2024年11月26日)
第103期	(決算日 2024年12月26日)
第104期	(決算日 2025年1月27日)
第105期	(決算日 2025年2月26日)

年2回決算型 第18期 (決算日 2025年2月26日)  
(作成対象期間 2024年8月27日～2025年2月26日)

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/資産複合	
信託期間	2016年3月1日～2026年2月26日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券(米ドル建)	
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	毎月分配型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
	年2回決算型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、一つのファンドで米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先(コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3292>  
<3293>  
<5692>  
<5693>

（毎月分配型）為替ヘッジあり

最近30期の運用実績

決算期	基準価額				公社債比率	純資産額
	(分配落)	税金	込金	期騰落		
	円	円	円	△	%	百万円
76 期末 (2022年 9 月26日)	6,279	110	△	14.0	103.6	4,762
77 期末 (2022年10月26日)	5,800	110	△	5.9	98.1	4,378
78 期末 (2022年11月28日)	6,153	110		8.0	96.6	4,817
79 期末 (2022年12月26日)	5,854	80	△	3.6	97.9	4,625
80 期末 (2023年 1 月26日)	6,198	80		7.2	98.1	4,908
81 期末 (2023年 2 月27日)	5,885	80	△	3.8	99.9	4,830
82 期末 (2023年 3 月27日)	5,344	80	△	7.8	96.3	4,370
83 期末 (2023年 4 月26日)	5,452	80		3.5	98.1	4,408
84 期末 (2023年 5 月26日)	5,127	80	△	4.5	98.7	4,047
85 期末 (2023年 6 月26日)	5,215	60		2.9	103.0	3,998
86 期末 (2023年 7 月26日)	5,592	60		8.4	97.4	4,354
87 期末 (2023年 8 月28日)	5,171	60	△	6.5	99.4	3,988
88 期末 (2023年 9 月26日)	4,857	60	△	4.9	97.6	3,581
89 期末 (2023年10月26日)	4,376	60	△	8.7	98.7	3,183
90 期末 (2023年11月27日)	4,857	60		12.4	96.6	3,512
91 期末 (2023年12月26日)	5,297	60		10.3	96.9	3,763
92 期末 (2024年 1 月26日)	5,044	60	△	3.6	97.5	3,551
93 期末 (2024年 2 月26日)	4,948	60	△	0.7	98.5	3,320
94 期末 (2024年 3 月26日)	4,870	60	△	0.4	98.0	3,220
95 期末 (2024年 4 月26日)	4,532	60	△	5.7	99.6	2,960
96 期末 (2024年 5 月27日)	4,560	60		1.9	98.7	2,869
97 期末 (2024年 6 月26日)	4,577	60		1.7	98.7	2,790
98 期末 (2024年 7 月26日)	4,776	60		5.7	95.4	2,785
99 期末 (2024年 8 月26日)	5,065	60		7.3	99.6	2,868
100 期末 (2024年 9 月26日)	5,158	60		3.0	98.9	2,900
101 期末 (2024年10月28日)	4,998	60	△	1.9	98.9	2,744
102 期末 (2024年11月26日)	5,000	60		1.2	98.7	2,760
103 期末 (2024年12月26日)	4,539	60	△	8.0	103.5	2,531
104 期末 (2025年 1 月27日)	4,527	60		1.1	97.1	2,506
105 期末 (2025年 2 月26日)	4,557	60		2.0	96.8	2,489

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

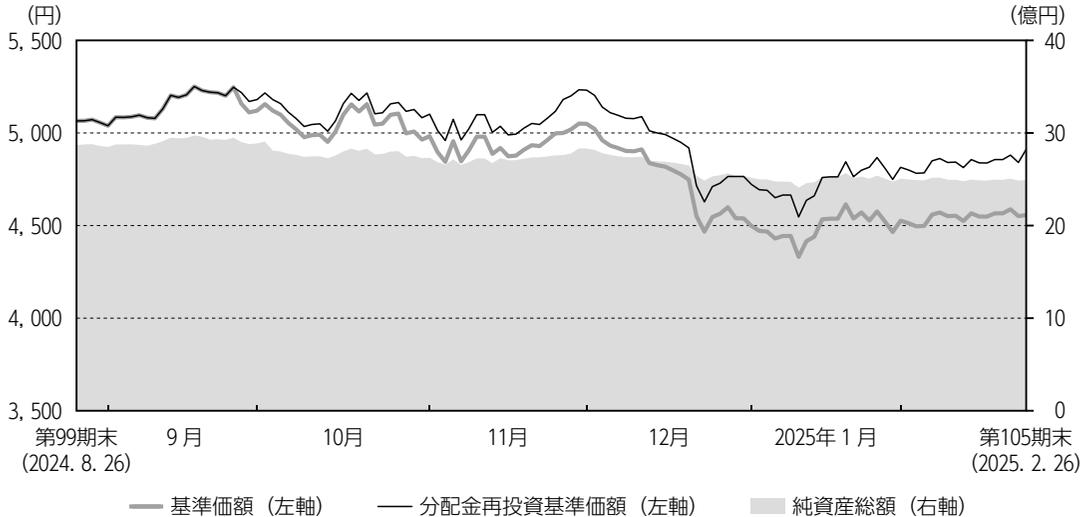
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### ■ 基準価額・騰落率

第100期首：5,065円

第105期末：4,557円（既払分配金360円）

騰落率：△3.0%（分配金再投資ベース）

### ■ 基準価額の主な変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し、為替ヘッジを行い運用した結果、米国リートおよび米国バンクローンが上昇したことはプラス要因となりましたが、ヘッジコストがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国リート・プラス（毎月分配型）為替ヘッジあり

	年 月 日	基 準 価 額		公 組 社 入 比 債 率
		騰 落 率		
第100期	(期首) 2024年8月26日	5,065	—	99.6
	8月末	5,039	△ 0.5	98.5
	(期末) 2024年9月26日	5,218	3.0	98.9
第101期	(期首) 2024年9月26日	5,158	—	98.9
	9月末	5,121	△ 0.7	97.4
	(期末) 2024年10月28日	5,058	△ 1.9	98.9
第102期	(期首) 2024年10月28日	4,998	—	98.9
	10月末	4,983	△ 0.3	99.2
	(期末) 2024年11月26日	5,060	1.2	98.7
第103期	(期首) 2024年11月26日	5,000	—	98.7
	11月末	5,049	1.0	95.1
	(期末) 2024年12月26日	4,599	△ 8.0	103.5
第104期	(期首) 2024年12月26日	4,539	—	103.5
	12月末	4,498	△ 0.9	103.7
	(期末) 2025年1月27日	4,587	1.1	97.1
第105期	(期首) 2025年1月27日	4,527	—	97.1
	1月末	4,526	△ 0.0	96.3
	(期末) 2025年2月26日	4,617	2.0	96.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2024. 8. 27 ~ 2025. 2. 26）

## ■米国リート市況

データセンターやヘルスケア関連銘柄は上昇しましたが、物流施設や通信インフラは下落しました。

米国リート市況は、当作成期首より、製造業や雇用、物価関連の経済指標の結果などを背景に、2024年9月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）に向けて利下げ織り込みが加速したことなどから、上昇しました。10月は、雇用統計や小売売上高が市場予想を上回る堅調な結果だったことや、大統領選挙をめぐる不確実性が意識されたことなどを背景に長期金利が上昇したことから、軟調に推移しました。11月は、大統領・連邦議会選挙でトランプ氏・共和党の勝利が確実となる中で、次期政権の経済政策への期待や財務長官人事による財政への安心感からリスク選好姿勢が高まり、上昇しました。12月は、底堅い経済指標の結果や、FRB（米国連邦準備制度理事会）が2025年以降の政策金利・経済見通しを引き上げたことから長期金利が上昇したことなどを背景に、下落しました。2025年1月前半は、堅調な労働市場を背景とした長期金利の上昇により軟調に推移しましたが、月後半はインフレの鈍化が確認されたことで長期金利が低下し、堅調に推移しました。その後、当作成期末にかけては、小売売上高が市場予想を下回るなど、軟調な経済指標が散見されたことで長期金利が低下し、堅調に推移しました。

## ■米国バンクローン市況

米国バンクローン市況は上昇しました。

米国バンクローン市況は、米国景気の先行きに対する不透明感が強まった場面では軟調な局面もありましたが、当作成期を通じて、総じて良好な米国経済指標の発表やバンクローンの安定的なインカム収益が下支えとなり、堅調に推移しました。

## ■短期金利市況

日銀は、政策金利である「無担保コールレート（オーバーナイト物）」を0.50%程度に引き上げました。米国は政策金利であるFFレート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標を4.25~4.50%に引き下げました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M トラスト2 - シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス（※）」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

※G I M トラスト2 - シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

## ポートフォリオについて

(2024. 8. 27 ~ 2025. 2. 26)

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M トラスト2 - シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

### (ご参考) 「G I M トラスト2 - シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の組入上位銘柄

銘柄名	資産	通貨	利率 (%)	償還日	比率
MEDLINE BORROWER LP	バンクローン	米ドル	7.10	2028/10/23	1.4%
GENESYS CLOUD SERVICES HOLDINGS I, LLC	バンクローン	米ドル	7.36	2027/12/1	1.3%
CCO HOLDINGS LLC / CCO HOLDINGS CAPITAL CORP	社債	米ドル	4.75	2030/3/1	1.3%
AADVANTAGE LOYALTY IP LTD.	バンクローン	米ドル	9.30	2028/4/20	0.9%
WEC US HOLDINGS LTD.	バンクローン	米ドル	6.92	2031/1/27	0.9%
IHEARTCOMMUNICATIONS, INC.	バンクローン	米ドル	10.39	2029/5/1	0.9%
KDC/ONE DEVELOPMENT CORPORATION, INC.	バンクローン	米ドル	8.37	2028/8/15	0.8%
OSMOSE HOLDINGS, INC	バンクローン	米ドル	7.72	2028/6/23	0.8%
MADISON IAQ LLC	バンクローン	米ドル	6.76	2028/6/21	0.8%
PIKE CORPORATION	バンクローン	米ドル	7.47	2028/1/21	0.8%

(注1) 上記データは2025年1月31日の前営業日現在のものです。

(注2) 比率は「G I M トラスト2 - シニア・セキュアード・ローン・ファンド」の純資産に対する比率です。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
	2024年8月27日 ～2024年9月26日	2024年9月27日 ～2024年10月28日	2024年10月29日 ～2024年11月26日	2024年11月27日 ～2024年12月26日	2024年12月27日 ～2025年1月27日	2025年1月28日 ～2025年2月26日
当期分配金(税込み) (円)	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率 (%)	1.15	1.19	1.19	1.30	1.31	1.30
当期の収益 (円)	60	58	52	53	49	50
当期の収益以外 (円)	—	1	7	6	10	9
翌期繰越分配対象額 (円)	3,266	3,265	3,258	3,252	3,241	3,231

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 60.16円	✓ 58.65円	✓ 52.03円	✓ 53.54円	✓ 49.21円	✓ 50.13円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	3,231.96	3,232.51	3,234.14	3,234.81	3,234.90	✓ 3,234.94
(d) 分配準備積立金	34.80	✓ 34.70	✓ 32.67	✓ 24.20	✓ 17.69	✓ 6.89
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,326.93	3,325.88	3,318.85	3,312.56	3,301.81	3,291.96
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	3,266.93	3,265.88	3,258.85	3,252.56	3,241.81	3,231.96

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M  
トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する  
債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実  
質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第100期～第105期 (2024. 8. 27～2025. 2. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	30円	0. 625%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は4, 830円です。</b>
( 投 信 会 社 )	(9)	(0. 194)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(20)	(0. 415)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(1)	(0. 016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 011	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(0)	(0. 007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	(0)	(0. 001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	31	0. 636	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

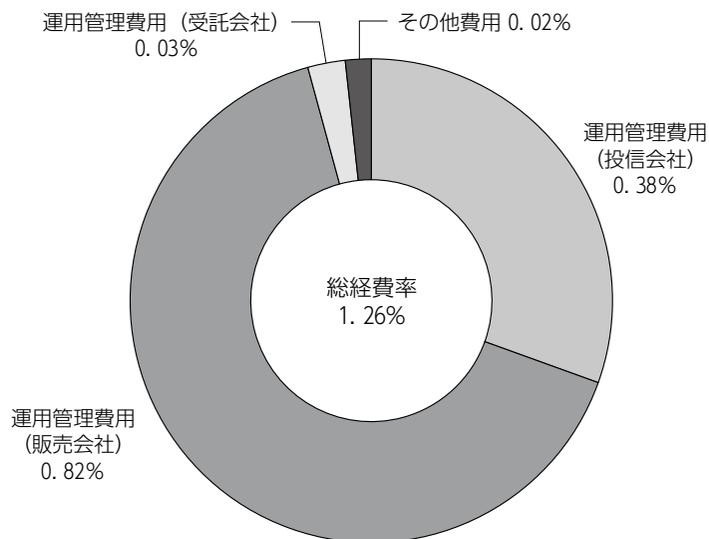
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.26%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

\*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかりました。  
純資産総額に対して年率0.604%（税込）程度、その他各種費用等

■売買および取引の状況

公社債

(2024年8月27日から2025年2月26日まで)

決算期			第100期～第105期	
			買付額	売付額
外国	アメリカ	社債券	千アメリカ・ドル 2,314	千アメリカ・ドル 4,794 ( )

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。  
 (注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公社債

(2024年8月27日から2025年2月26日まで)

第100期～第105期			
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
Star Helios Plc (アイルランド) - floating - 2029/1/19	千円 353,655	Star Helios Plc (アイルランド) - floating - 2029/1/19	千円 729,055

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期 区分	額面金額	第105期末						
		評価額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 28,700	千アメリカ・ドル 16,186	千円 2,410,538	% 96.8	% —	% —	% 96.8	% —

- (注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。  
 (注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。  
 (注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。  
 (注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

# ダイワ米国リート・プラス（毎月分配型）為替ヘッジあり

## (2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
					千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ	Star Helios Plc	社債券	% —	28,700	16,186	2,410,538	2029/01/19

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) クーポンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

## ■投資信託財産の構成

2025年2月26日現在

項 目	第 105 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	2,410,538	92.4
コール・ローン等、その他	199,451	7.6
投資信託財産総額	2,609,990	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝148.92円です。

(注3) 第105期末における外貨建純資産（2,327,761千円）の投資信託財産総額（2,609,990千円）に対する比率は、89.2%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年9月26日)、(2024年10月28日)、(2024年11月26日)、(2024年12月26日)、(2025年1月27日)、(2025年2月26日)現在

項 目	第100期末	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末
<b>(A) 資産</b>	<b>5,792,346,881円</b>	<b>5,867,953,687円</b>	<b>5,607,991,013円</b>	<b>5,165,696,771円</b>	<b>4,990,085,787円</b>	<b>5,060,340,043円</b>
コール・ローン等	79,466,235	78,555,911	98,035,546	77,323,216	84,312,049	66,956,397
公社債（評価額）	2,868,280,060	2,715,429,717	2,725,704,602	2,618,574,122	2,433,655,576	2,410,538,256
未収入金	2,843,230,094	3,072,321,883	2,782,330,393	2,467,638,573	2,469,707,235	2,580,193,338
その他未収収益	1,370,492	1,646,176	1,920,472	2,160,860	2,410,927	2,652,052
<b>(B) 負債</b>	<b>2,891,832,343</b>	<b>3,123,119,484</b>	<b>2,847,245,232</b>	<b>2,634,554,495</b>	<b>2,483,754,925</b>	<b>2,570,549,073</b>
未払金	2,855,003,521	3,087,076,599	2,793,547,541	2,597,743,573	2,435,447,891	2,535,091,924
未払収益分配金	33,741,581	32,952,101	33,129,793	33,459,613	33,216,696	32,784,401
未払解約金	—	—	17,831,258	523,961	12,264,016	—
未払信託報酬	3,066,899	3,050,211	2,678,304	2,750,767	2,731,628	2,555,171
その他未払費用	20,342	40,573	58,336	76,581	94,694	117,577
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>2,900,514,538</b>	<b>2,744,834,203</b>	<b>2,760,745,781</b>	<b>2,531,142,276</b>	<b>2,506,330,862</b>	<b>2,489,790,970</b>
元本	5,623,596,894	5,492,016,923	5,521,632,288	5,576,602,290	5,536,116,034	5,464,066,935
次期繰越損益金	△ 2,723,082,356	△ 2,747,182,720	△ 2,760,886,507	△ 3,045,460,014	△ 3,029,785,172	△ 2,974,275,965
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>5,623,596,894口</b>	<b>5,492,016,923口</b>	<b>5,521,632,288口</b>	<b>5,576,602,290口</b>	<b>5,536,116,034口</b>	<b>5,464,066,935口</b>
1万口当り基準価額（C/D）	5,158円	4,998円	5,000円	4,539円	4,527円	4,557円

\* 当作成期首における元本額は5,663,857,069円、当作成期間（第100期～第105期）中における追加設定元本額は377,052,134円、同解約元本額は576,842,268円です。

\* 第105期末の計算口数当りの純資産額は4,557円です。

\* 第105期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,974,275,965円です。

■損益の状況

第100期 自2024年8月27日 至2024年9月26日 第102期 自2024年10月29日 至2024年11月26日 第104期 自2024年12月27日 至2025年1月27日  
 第101期 自2024年9月27日 至2024年10月28日 第103期 自2024年11月27日 至2024年12月26日 第105期 自2025年1月28日 至2025年2月26日

項目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
(A) 配当等収益	35,065,683円	35,322,541円	30,936,774円	32,700,962円	30,035,558円	28,839,166円
受取利息	34,796,173	35,047,988	30,665,082	32,462,475	29,787,888	28,601,273
その他収益	269,510	274,553	271,692	238,487	247,670	237,893
(B) 有価証券売買損益	53,899,811	△ 86,807,147	7,023,016	△ 252,945,695	△ 447,667	22,595,048
売買益	120,980,558	190,047,181	62,653,952	133,051,619	174,494,424	160,199,164
売買損	△ 67,080,747	△ 276,854,328	△ 55,630,936	△ 385,997,314	△ 174,942,091	△ 137,604,116
(C) 信託報酬等	△ 3,129,251	△ 3,108,737	△ 2,703,632	△ 2,841,981	△ 2,786,836	△ 2,580,300
(D) 当期損益金 (A + B + C)	85,836,243	△ 54,593,343	35,256,158	△ 223,086,714	26,801,055	48,853,914
(E) 前期繰越損益金	△ 1,718,132,028	△ 1,614,988,472	△ 1,676,049,205	△ 1,656,331,361	△ 1,892,819,687	△ 1,868,470,016
(F) 追加信託差損益金	△ 1,057,044,990	△ 1,044,648,804	△ 1,086,963,667	△ 1,132,582,326	△ 1,130,549,844	△ 1,121,875,462
(配当等相当額)	( 1,817,524,997)	( 1,775,304,271)	( 1,785,774,660)	( 1,803,929,816)	( 1,790,879,217)	( 1,767,593,991)
(売買損益相当額)	(△ 2,874,569,987)	(△ 2,819,953,075)	(△ 2,872,738,327)	(△ 2,936,512,142)	(△ 2,921,429,061)	(△ 2,889,469,453)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 2,689,340,775	△ 2,714,230,619	△ 2,727,756,714	△ 3,012,000,401	△ 2,996,568,476	△ 2,941,491,564
(H) 収益分配金	△ 33,741,581	△ 32,952,101	△ 33,129,793	△ 33,459,613	△ 33,216,696	△ 32,784,401
次期繰越損益金 (G + H)	△ 2,723,082,356	△ 2,747,182,720	△ 2,760,886,507	△ 3,045,460,014	△ 3,029,785,172	△ 2,974,275,965
追加信託差損益金	△ 1,057,044,990	△ 1,044,648,804	△ 1,086,963,667	△ 1,132,582,326	△ 1,130,549,844	△ 1,123,502,498
(配当等相当額)	( 1,817,524,997)	( 1,775,304,271)	( 1,785,774,660)	( 1,803,929,816)	( 1,790,879,217)	( 1,765,966,955)
(売買損益相当額)	(△ 2,874,569,987)	(△ 2,819,953,075)	(△ 2,872,738,327)	(△ 2,936,512,142)	(△ 2,921,429,061)	(△ 2,889,469,453)
分配準備積立金	19,665,128	18,324,273	13,642,741	9,898,734	3,826,964	—
繰越損益金	△ 1,685,702,494	△ 1,720,858,189	△ 1,687,565,581	△ 1,922,776,422	△ 1,903,062,292	△ 1,850,773,467

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
(a) 経費控除後の配当等収益	33,832,445円	32,213,804円	28,733,314円	29,858,981円	27,248,722円	27,392,392円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,817,524,997	1,775,304,271	1,785,774,660	1,803,929,816	1,790,879,217	1,767,593,991
(d) 分配準備積立金	19,574,264	19,062,570	18,039,220	13,499,366	9,794,938	3,764,973
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,870,931,706	1,826,580,645	1,832,547,194	1,847,288,163	1,827,922,877	1,798,751,356
(f) 分配金	33,741,581	32,952,101	33,129,793	33,459,613	33,216,696	32,784,401
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,837,190,125	1,793,628,544	1,799,417,401	1,813,828,550	1,794,706,181	1,765,966,955
(h) 受益権総口数	5,623,596,894□	5,492,016,923□	5,521,632,288□	5,576,602,290□	5,536,116,034□	5,464,066,935□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金（税込み）	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
		60円	60円	60円	60円	60円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

（毎月分配型）為替ヘッジなし

最近30期の運用実績

決算期	基準価額				公 社 債 率 組 入 比	純 資 産 額
	( 分 配 落 )	税 分 配 込 金	期 騰 落	中 率		
76 期末 (2022年 9 月26日)	円 8,489	円 120	△	8.7%	% 98.0	百万円 55,422
77 期末 (2022年10月26日)	8,158	120	△	2.5	98.4	53,580
78 期末 (2022年11月28日)	8,199	120		2.0	98.2	53,546
79 期末 (2022年12月26日)	7,418	120	△	8.1	98.5	48,715
80 期末 (2023年 1 月26日)	7,686	120		5.2	98.3	50,217
81 期末 (2023年 2 月27日)	7,721	120		2.0	98.5	51,185
82 期末 (2023年 3 月27日)	6,736	120	△	11.2	99.1	45,122
83 期末 (2023年 4 月26日)	7,045	120		6.4	98.3	47,648
84 期末 (2023年 5 月26日)	6,947	120		0.3	97.5	47,561
85 期末 (2023年 6 月26日)	7,290	80		6.1	98.6	50,293
86 期末 (2023年 7 月26日)	7,723	80		7.0	99.3	52,226
87 期末 (2023年 8 月28日)	7,466	80	△	2.3	98.7	49,786
88 期末 (2023年 9 月26日)	7,173	80	△	2.9	98.7	47,532
89 期末 (2023年10月26日)	6,565	80	△	7.4	98.3	43,126
90 期末 (2023年11月27日)	7,288	80		12.2	96.9	46,426
91 期末 (2023年12月26日)	7,643	80		6.0	98.5	47,620
92 期末 (2024年 1 月26日)	7,611	80		0.6	99.0	46,604
93 期末 (2024年 2 月26日)	7,647	80		1.5	98.3	45,310
94 期末 (2024年 3 月26日)	7,630	80		0.8	98.9	43,755
95 期末 (2024年 4 月26日)	7,361	80	△	2.5	98.7	40,757
96 期末 (2024年 5 月27日)	7,512	80		3.1	99.6	41,127
97 期末 (2024年 6 月26日)	7,729	80		4.0	99.1	40,390
98 期末 (2024年 7 月26日)	7,838	80		2.4	99.0	39,774
99 期末 (2024年 8 月26日)	7,788	80		0.4	99.0	38,957
100期末 (2024年 9 月26日)	8,044	80		4.3	98.7	39,837
101期末 (2024年10月28日)	8,323	80		4.5	98.7	41,112
102期末 (2024年11月26日)	8,418	80		2.1	98.7	40,923
103期末 (2024年12月26日)	7,856	80	△	5.7	99.3	37,101
104期末 (2025年 1 月27日)	7,824	80		0.6	98.9	36,549
105期末 (2025年 2 月26日)	7,598	80	△	1.9	98.9	34,996

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

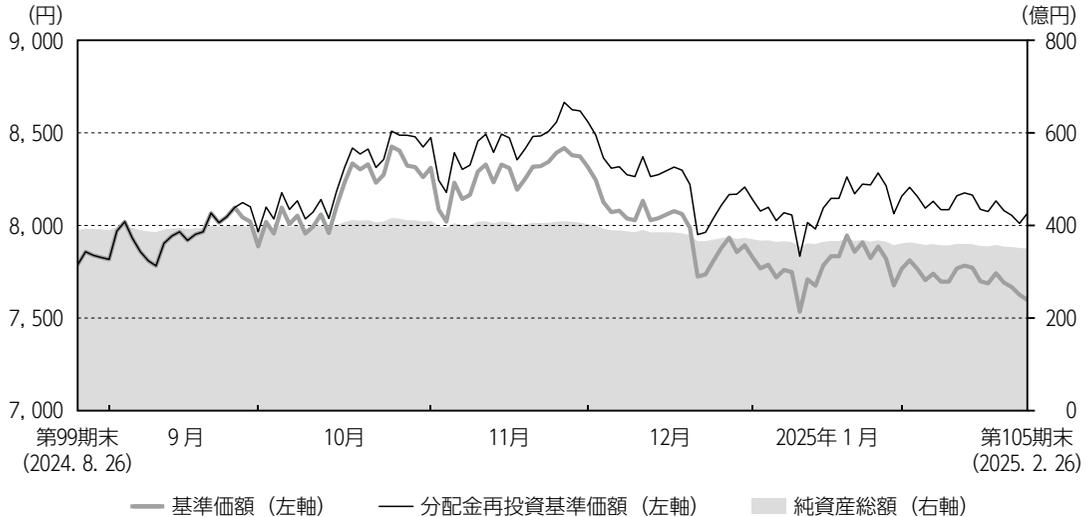
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

第100期首：7,788円

第105期末：7,598円（既払分配金480円）

騰落率：3.6%（分配金再投資ベース）

### 基準価額の変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し運用した結果、米ドルが対円で上昇（円安）したことや、米国リートおよび米国バンクローンが上昇したことなどから、基準価額は上昇しました（分配金再投資ベース）。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
		円	騰 落 率	
第100期	(期首) 2024年8月26日	7,788	—	99.0
	8月末	7,817	0.4	99.3
	(期末) 2024年9月26日	8,124	4.3	98.7
第101期	(期首) 2024年9月26日	8,044	—	98.7
	9月末	7,887	△ 2.0	98.6
	(期末) 2024年10月28日	8,403	4.5	98.7
第102期	(期首) 2024年10月28日	8,323	—	98.7
	10月末	8,311	△ 0.1	98.8
	(期末) 2024年11月26日	8,498	2.1	98.7
第103期	(期首) 2024年11月26日	8,418	—	98.7
	11月末	8,316	△ 1.2	99.0
	(期末) 2024年12月26日	7,936	△ 5.7	99.3
第104期	(期首) 2024年12月26日	7,856	—	99.3
	12月末	7,827	△ 0.4	99.2
	(期末) 2025年1月27日	7,904	0.6	98.9
第105期	(期首) 2025年1月27日	7,824	—	98.9
	1月末	7,766	△ 0.7	99.3
	(期末) 2025年2月26日	7,678	△ 1.9	98.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## ■米国リート市況

データセンターやヘルスケア関連銘柄は上昇しましたが、物流施設や通信インフラは下落しました。

米国リート市況は、当作成期首より、製造業や雇用、物価関連の経済指標の結果などを背景に、2024年9月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）に向けて利下げ織り込みが加速したことなどから、上昇しました。10月は、雇用統計や小売売上高が市場予想を上回る堅調な結果だったことや、大統領選挙をめぐる不確実性が意識されたことなどを背景に長期金利が上昇したことから、軟調に推移しました。11月は、大統領・連邦議会選挙でトランプ氏・共和党の勝利が確実となる中で、次期政権の経済政策への期待や財務長官人事による財政への安心感からリスク選好姿勢が高まり、上昇しました。12月は、底堅い経済指標の結果や、FRB（米国連邦準備制度理事会）が2025年以降の政策金利・経済見通しを引き上げたことから長期金利が上昇したことなどを背景に、下落しました。2025年1月前半は、堅調な労働市場を背景とした長期金利の上昇により軟調に推移しましたが、月後半はインフレの鈍化が確認されたことで長期金利が低下し、堅調に推移しました。その後、当作成期末にかけては、小売売上高が市場予想を下回るなど、軟調な経済指標が散見されたことで長期金利が低下し、堅調に推移しました。

## ■米国バンクローン市況

米国バンクローン市況は上昇しました。

米国バンクローン市況は、米国景気の先行きに対する不透明感が強まった場面では軟調な局面もありましたが、当作成期を通じて、総じて良好な米国経済指標の発表やバンクローンの安定的なインカム収益が下支えとなり、堅調に推移しました。

## ■為替相場

米ドルは対円で上昇しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、米国金利の低下による日米金利差の縮小や自民党総選挙の結果などから、円高基調となりました。しかし2024年10月に入ると、米国金利が大きく上昇したことで日米金利差の拡大が意識され、円安米ドル高が大きく進行しました。11月に入っても、米国金利の上昇に連れて円安米ドル高基調となりましたが、米国金利が低下に転じたことや日銀総裁が利上げを継続する方針を示したことなどから、月半ばに円高に転じました。しかし12月に入ると、米国金利が上昇したことや、日銀が金融政策決定会合において政策金利を据え置いたことなどから、円安が進行しました。2025年1月に入ると、おおむね日米金利差の動きに連れる展開とな

り、日銀が月内の金融政策決定会合において利上げを行う可能性が高まったことで、円高に転じました。2月は、おおむね米国金利の動きに連れる展開となり米国金利の低下を受けて、円高米ドル安となりました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス（※）」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

※G I M トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

## ポートフォリオについて

(2024. 8. 27 ~ 2025. 2. 26)

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

### （ご参考）「G I M トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の組入上位銘柄

銘柄名	資産	通貨	利率 (%)	償還日	比率
MEDLINE BORROWER LP	バンクローン	米ドル	7.10	2028/10/23	1.4%
GENESYS CLOUD SERVICES HOLDINGS I, LLC	バンクローン	米ドル	7.36	2027/12/1	1.3%
CCO HOLDINGS LLC / CCO HOLDINGS CAPITAL CORP	社債	米ドル	4.75	2030/3/1	1.3%
AADVANTAGE LOYALTY IP LTD.	バンクローン	米ドル	9.30	2028/4/20	0.9%
WEC US HOLDINGS LTD.	バンクローン	米ドル	6.92	2031/1/27	0.9%
IHEARTCOMMUNICATIONS, INC.	バンクローン	米ドル	10.39	2029/5/1	0.9%
KDC/ONE DEVELOPMENT CORPORATION, INC.	バンクローン	米ドル	8.37	2028/8/15	0.8%
OSMOSE HOLDINGS, INC	バンクローン	米ドル	7.72	2028/6/23	0.8%
MADISON IAQ LLC	バンクローン	米ドル	6.76	2028/6/21	0.8%
PIKE CORPORATION	バンクローン	米ドル	7.47	2028/1/21	0.8%

(注1) 上記データは2025年1月31日の前営業日現在のものです。

(注2) 比率は「G I M トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド」の純資産に対する比率です。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
	2024年8月27日 ～2024年9月26日	2024年9月27日 ～2024年10月28日	2024年10月29日 ～2024年11月26日	2024年11月27日 ～2024年12月26日	2024年12月27日 ～2025年1月27日	2025年1月28日 ～2025年2月26日
当期分配金(税込み) (円)	80	80	80	80	80	80
対基準価額比率 (%)	0.98	0.95	0.94	1.01	1.01	1.04
当期の収益 (円)	80	80	80	80	80	80
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	3,207	3,225	3,235	3,248	3,249	3,255

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 95.40円	✓ 96.75円	✓ 90.05円	✓ 92.37円	✓ 81.43円	✓ 85.11円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,748.90	2,756.60	2,760.01	2,762.17	2,764.62	2,766.96
(d) 分配準備積立金	443.07	451.80	465.57	473.70	483.87	483.14
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,287.38	3,305.16	3,315.64	3,328.25	3,329.93	3,335.22
(f) 分配金	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	3,207.38	3,225.16	3,235.64	3,248.25	3,249.93	3,255.22

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M  
 トラスト 2 - シニア・セキュアード・ローン・ファンド U S Dクラス」の値動きに80%程度連動する  
 債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実  
 質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第100期～第105期 (2024. 8. 27～2025. 2. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	50円	0. 625%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は7, 984円です。</b>
（投 信 会 社）	(15)	(0. 194)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(33)	(0. 415)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0. 016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 008	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(0)	(0. 005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0. 002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	51	0. 633	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

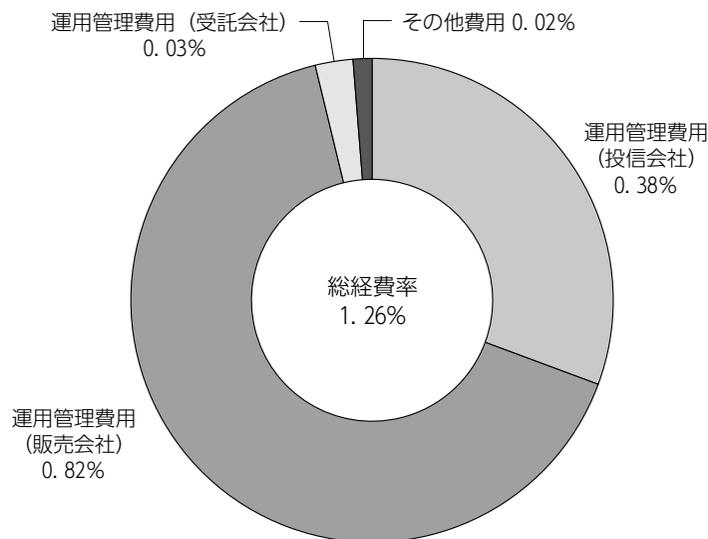
(注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.26%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

\*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかりました。

純資産総額に対して年率0.604%（税込）程度、その他各種費用等

## ダイワ米国リート・プラス（毎月分配型）為替ヘッジなし

### ■売買および取引の状況

#### 公社債

(2024年8月27日から2025年2月26日まで)

決算期			第100期～第105期	
			買付額	売付額
外国	アメリカ	社債券	千アメリカ・ドル 10,782	千アメリカ・ドル 29,764 ( — )

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

### ■主要な売買銘柄

#### 公社債

(2024年8月27日から2025年2月26日まで)

第100期～第105期			
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
Star Helios Plc (アイルランド) - floating - 2029/1/19	千円 1,629,386	Star Helios Plc (アイルランド) - floating - 2029/1/19	千円 4,510,797

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表

#### (1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期 区分	額面金額	第105期末						
		評価額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 412,120	千アメリカ・ドル 232,435	千円 34,614,321	% 98.9	% —	% —	% 98.9	% —

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

		第 105 期 末			評 価 額		償還年月日
区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額面金額	外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ	Star Helios Plc	社債券	% —	千アメリカ・ドル 412,120	千アメリカ・ドル 232,435	千円 34,614,321	2029/01/19

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) クーポンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

■投資信託財産の構成

2025年2月26日現在

項 目	第 105 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	34,614,321	97.6
コール・ローン等、その他	862,348	2.4
投資信託財産総額	35,476,670	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝148.92円です。

(注3) 第105期末における外貨建純資産（34,616,003千円）の投資信託財産総額（35,476,670千円）に対する比率は、97.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年9月26日)、(2024年10月28日)、(2024年11月26日)、(2024年12月26日)、(2025年1月27日)、(2025年2月26日) 現在

項 目	第100期末	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末
<b>(A) 資産</b>	<b>40,370,262,252円</b>	<b>41,575,716,230円</b>	<b>41,470,732,639円</b>	<b>38,066,074,401円</b>	<b>37,080,474,991円</b>	<b>35,476,670,259円</b>
コール・ローン等	1,042,070,614	957,890,511	1,051,020,573	734,301,613	903,499,280	824,592,658
公社債（評価額）	39,308,839,998	40,594,750,654	40,392,701,891	36,844,468,839	36,142,816,547	34,614,321,466
未収入金	—	—	—	456,709,400	—	—
その他未収収益	19,351,640	23,075,065	27,010,175	30,594,549	34,159,164	37,756,135
<b>(B) 負債</b>	<b>532,387,244</b>	<b>463,255,981</b>	<b>547,316,183</b>	<b>964,320,599</b>	<b>530,908,035</b>	<b>479,695,973</b>
未払金	—	—	—	456,489,000	—	—
未払収益分配金	396,221,819	395,168,377	388,903,840	377,826,782	373,701,840	368,495,115
未払解約金	94,468,310	23,863,835	117,908,929	89,790,822	116,275,557	73,475,274
未払信託報酬	41,509,788	43,838,601	39,947,461	39,487,197	40,014,883	36,626,074
その他未払費用	187,327	385,168	555,953	726,798	915,755	1,099,510
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>39,837,875,008</b>	<b>41,112,460,249</b>	<b>40,923,416,456</b>	<b>37,101,753,802</b>	<b>36,549,566,956</b>	<b>34,996,974,286</b>
元本	49,527,727,427	49,396,047,200	48,612,980,064	47,228,347,829	46,712,730,029	46,061,889,386
次期繰越損益金	△ 9,689,852,419	△ 8,283,586,951	△ 7,689,563,608	△ 10,126,594,027	△ 10,163,163,073	△ 11,064,915,100
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>49,527,727,427口</b>	<b>49,396,047,200口</b>	<b>48,612,980,064口</b>	<b>47,228,347,829口</b>	<b>46,712,730,029口</b>	<b>46,061,889,386口</b>
1万口当り基準価額（C/D）	<b>8,044円</b>	<b>8,323円</b>	<b>8,418円</b>	<b>7,856円</b>	<b>7,824円</b>	<b>7,598円</b>

\* 当作成期首における元本額は50,024,782,899円、当作成期間（第100期～第105期）中における追加設定元本額は1,994,279,103円、同解約元本額は5,957,172,616円です。

\* 第105期末の計算口数当りの純資産額は7,598円です。

\* 第105期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は11,064,915,100円です。

# ダイワ米国リート・プラス（毎月分配型）為替ヘッジなし

## ■損益の状況

	第100期 自2024年8月27日 第101期 自2024年9月27日	至2024年9月26日 第101期 自2024年10月28日	第102期 自2024年10月29日 第103期 自2024年11月27日	至2024年11月26日 第103期 自2024年12月26日	第104期 自2024年12月27日 第105期 自2025年1月28日	至2025年1月27日 第105期 自2025年2月26日
項 目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
(A) 配当等収益	484,495,138円	489,898,182円	458,340,433円	476,747,974円	421,006,435円	428,844,310円
受取利息	480,817,345	486,231,283	454,475,423	473,252,466	417,493,347	425,292,386
その他収益金	3,677,793	3,666,899	3,865,010	3,495,508	3,513,088	3,551,924
(B) 有価証券売買損益	1,214,760,927	1,326,298,375	435,936,382	△ 2,709,239,434	△ 154,100,571	△ 1,065,484,978
売買益	1,223,711,125	2,407,150,122	448,621,202	865,441,963	287,846,445	456,581,593
売買損	△ 8,950,198	△ 1,080,851,747	△ 12,684,820	△ 3,574,681,397	△ 441,947,016	△ 1,522,066,571
(C) 信託報酬等	△ 42,078,236	△ 44,434,303	△ 40,118,950	△ 40,464,821	△ 40,604,120	△ 36,810,474
(D) 当期繰越損益 (A + B + C)	1,657,177,829	1,771,762,254	854,157,865	△ 2,272,956,281	226,301,744	△ 673,451,142
(E) 前期繰越損益金	△ 6,780,943,425	△ 5,425,193,200	△ 3,959,059,957	△ 3,380,529,921	△ 5,938,437,500	△ 5,974,285,982
(F) 追加信託差損益金	△ 4,169,865,004	△ 4,234,987,628	△ 4,195,757,676	△ 4,095,281,043	△ 4,077,325,477	△ 4,048,682,861
(配当等相当額)	( 13,614,700,731)	( 13,616,554,258)	( 13,417,257,717)	( 13,045,296,632)	( 12,914,307,934)	( 12,745,150,369)
(売買損益相当額)	(△ 17,784,565,735)	(△ 17,851,541,886)	(△ 17,613,015,393)	(△ 17,140,577,675)	(△ 16,991,633,411)	(△ 16,793,833,230)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 9,293,630,600	△ 7,888,418,574	△ 7,300,659,768	△ 9,748,767,245	△ 9,789,461,233	△ 10,696,419,985
(H) 収益分配金	△ 396,221,819	△ 395,168,377	△ 388,903,840	△ 377,826,782	△ 373,701,840	△ 368,495,115
次期繰越損益金 (G + H)	△ 9,689,852,419	△ 8,283,586,951	△ 7,689,563,608	△ 10,126,594,027	△ 10,163,163,073	△ 11,064,915,100
追加信託差損益金	△ 4,169,865,004	△ 4,234,987,628	△ 4,195,757,676	△ 4,095,281,043	△ 4,077,325,477	△ 4,048,682,861
(配当等相当額)	( 13,614,700,731)	( 13,616,554,258)	( 13,417,257,717)	( 13,045,296,632)	( 12,914,307,934)	( 12,745,150,369)
(売買損益相当額)	(△ 17,784,565,735)	(△ 17,851,541,886)	(△ 17,613,015,393)	(△ 17,140,577,675)	(△ 16,991,633,411)	(△ 16,793,833,230)
分配準備積立金	2,270,744,602	2,314,495,194	2,312,183,132	2,295,674,010	2,267,023,670	2,249,008,515
繰越損益金	△ 7,790,732,017	△ 6,363,094,517	△ 5,805,989,064	△ 8,326,986,994	△ 8,352,861,266	△ 9,265,240,754

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
(a) 経費控除後の配当等収益	472,498,633円	477,914,250円	437,779,471円	436,283,153円	380,402,315円	392,033,836円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	13,614,700,731	13,616,554,258	13,417,257,717	13,045,296,632	12,914,307,934	12,745,150,369
(d) 分配準備積立金	2,194,467,788	2,231,749,321	2,263,307,501	2,237,217,639	2,260,323,195	2,225,469,794
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	16,281,667,152	16,326,217,829	16,118,344,689	15,718,797,424	15,555,033,444	15,362,653,999
(f) 分配金	396,221,819	395,168,377	388,903,840	377,826,782	373,701,840	368,495,115
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	15,885,445,333	15,931,049,452	15,729,440,849	15,340,970,642	15,181,331,604	14,994,158,884
(h) 受益権総口数	49,527,727,427口	49,396,047,200口	48,612,980,064口	47,228,347,829口	46,712,730,029口	46,061,889,386口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金（税込み）	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期
		80円	80円	80円	80円	80円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

（年2回決算型）為替ヘッジあり

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 組 入 比 率	純 資 産 額
	( 分 配 落 )	税 分 配 込 金	期 騰 落	中 率		
14期末 (2023年2月27日)	円 8,572	円 200	△	% 12.9	% 100.1	百万円 937
15期末 (2023年8月28日)	8,041	100	△	5.0	99.6	756
16期末 (2024年2月26日)	8,169	100		2.8	97.9	677
17期末 (2024年8月26日)	8,954	50		10.2	99.6	572
18期末 (2025年2月26日)	8,633	50	△	3.0	97.4	472

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

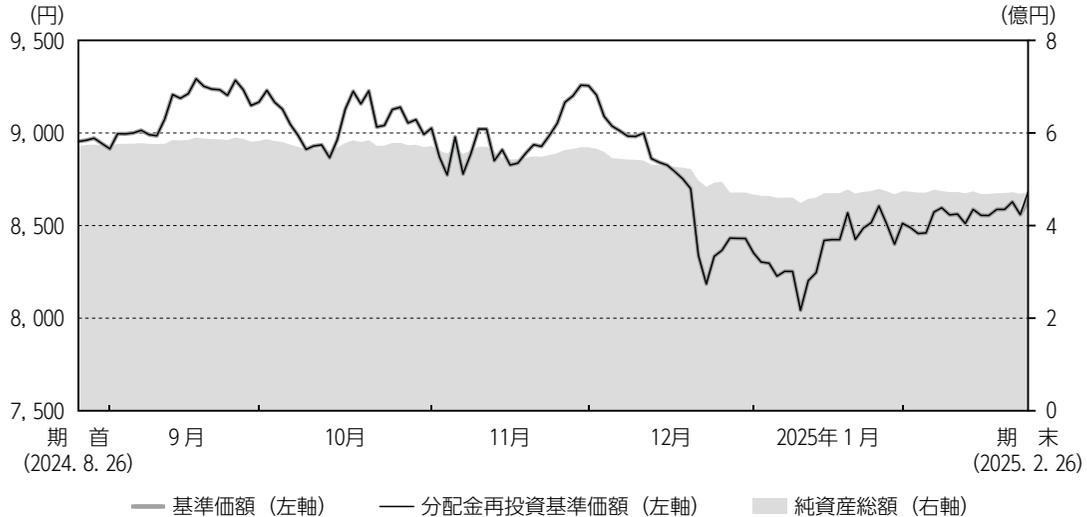
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

期首：8,954円

期末：8,633円（分配金50円）

騰落率：△3.0%（分配金込み）

### 基準価額の主な変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し、為替ヘッジを行い運用した結果、米国リートおよび米国バンクローンが上昇したことはプラス要因となりましたが、ヘッジコストがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国リート・プラス（年2回決算型）為替ヘッジあり

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2024年 8月26日	8,954	—	99.6
8月末	8,914	△ 0.4	98.5
9月末	9,167	2.4	97.4
10月末	9,026	0.8	99.7
11月末	9,255	3.4	96.9
12月末	8,353	△ 6.7	103.6
2025年 1月末	8,512	△ 4.9	95.7
(期 末) 2025年 2月26日	8,683	△ 3.0	97.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2024. 8. 27 ~ 2025. 2. 26)

## ■米国リート市況

データセンターやヘルスケア関連銘柄は上昇しましたが、物流施設や通信インフラは下落しました。

米国リート市況は、当作成期首より、製造業や雇用、物価関連の経済指標の結果などを背景に、2024年9月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）に向けて利下げ織り込みが加速したことなどから、上昇しました。10月は、雇用統計や小売売上高が市場予想を上回る堅調な結果だったことや、大統領選挙をめぐる不確実性が意識されたことなどを背景に長期金利が上昇したことから、軟調に推移しました。11月は、大統領・連邦議会選挙でトランプ氏・共和党の勝利が確実となる中で、次期政権の経済政策への期待や財務長官人事による財政への安心感からリスク選好姿勢が高まり、上昇しました。12月は、底堅い経済指標の結果や、FRB（米国連邦準備制度理事会）が2025年以降の政策金利・経済見通しを引き上げたことから長期金利が上昇したことなどを背景に、下落しました。2025年1月前半は、堅調な労働市場を背景とした長期金利の上昇により軟調に推移しましたが、月後半はインフレの鈍化が確認されたことで長期金利が低下し、堅調に推移しました。その後、当作成期末にかけては、小売売上高が市場予想を下回るなど、軟調な経済指標が散見されたことで長期金利が低下し、堅調に推移しました。

## ■米国バンクローン市況

米国バンクローン市況は上昇しました。

米国バンクローン市況は、米国景気の先行きに対する不透明感が強まった場面では軟調な局面もありましたが、当作成期を通じて、総じて良好な米国経済指標の発表やバンクローンの安定的なインカム収益が下支えとなり、堅調に推移しました。

## ■短期金利市況

日銀は、政策金利である「無担保コールレート（オーバーナイト物）」を0.50%程度に引き上げました。米国は政策金利であるFFレート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標を4.25~4.50%に引き下げました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス（※）」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

※GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

## ポートフォリオについて

(2024. 8. 27 ~ 2025. 2. 26)

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

(ご参考) 「GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の組入上位銘柄

銘柄名	資産	通貨	利率 (%)	償還日	比率
MEDLINE BORROWER LP	バンクローン	米ドル	7.10	2028/10/23	1.4%
GENESYS CLOUD SERVICES HOLDINGS I, LLC	バンクローン	米ドル	7.36	2027/12/1	1.3%
CCO HOLDINGS LLC / CCO HOLDINGS CAPITAL CORP	社債	米ドル	4.75	2030/3/1	1.3%
AADVANTAGE LOYALTY IP LTD.	バンクローン	米ドル	9.30	2028/4/20	0.9%
WEC US HOLDINGS LTD.	バンクローン	米ドル	6.92	2031/1/27	0.9%
IHEARTCOMMUNICATIONS, INC.	バンクローン	米ドル	10.39	2029/5/1	0.9%
KDC/ONE DEVELOPMENT CORPORATION, INC.	バンクローン	米ドル	8.37	2028/8/15	0.8%
OSMOSE HOLDINGS, INC	バンクローン	米ドル	7.72	2028/6/23	0.8%
MADISON IAQ LLC	バンクローン	米ドル	6.76	2028/6/21	0.8%
PIKE CORPORATION	バンクローン	米ドル	7.47	2028/1/21	0.8%

(注1) 上記データは2025年1月31日の前営業日現在のものです。

(注2) 比率は「GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド」の純資産に対する比率です。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2024年8月27日 ～2025年2月26日	
<b>当期分配金（税込み）</b>	<b>（円）</b>	<b>50</b>
対基準価額比率	（％）	0.58
当期の収益	（円）	50
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	6,723

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	567.05円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		3,333.86
(d) 分配準備積立金		2,873.07
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		6,773.99
(f) 分配金		50.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		6,723.99

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド US Dクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2024. 8. 27~2025. 2. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	55円	0.626%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は8,820円です。</b>
（投 信 会 社）	(17)	(0.194)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(37)	(0.416)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.017)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0.017	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0.009)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.004)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	57	0.644	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

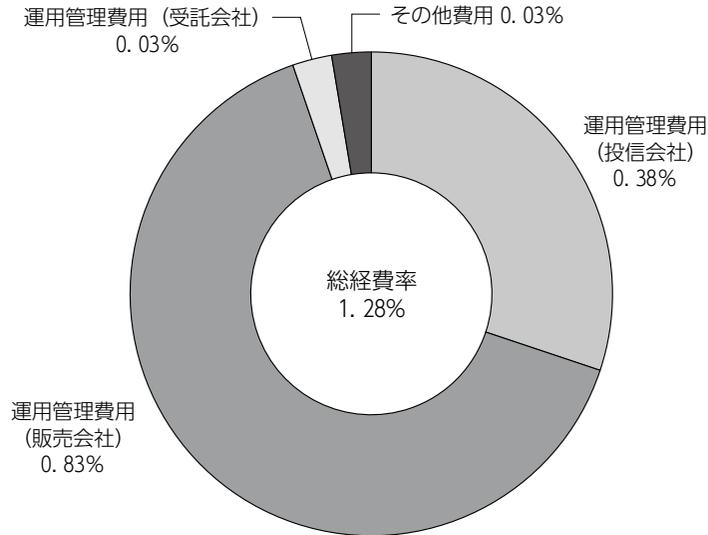
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.28%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

\*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかりました。

純資産総額に対して年率0.604%（税込）程度、その他各種費用等

## ダイワ米国リート・プラス（年2回決算型）為替ヘッジあり

### ■売買および取引の状況

#### 公社債

(2024年8月27日から2025年2月26日まで)

		買付額	売付額
外国	アメリカ	千アメリカ・ドル 290	千アメリカ・ドル 914
	社債券	( )	( )

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

### ■主要な売買銘柄

#### 公社債

(2024年8月27日から2025年2月26日まで)

当期		当	
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
Star Helios Plc (アイルランド) - floating - 2029/1/19	千円 44,054	Star Helios Plc (アイルランド) - floating - 2029/1/19	千円 140,750

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表

#### (1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期 区分	額面金額	評価額		当期		期末		
		外貨建金額	邦貨換算金額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
						5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 5,480	千アメリカ・ドル 3,090	千円 460,270	% 97.4	% —	% —	% 97.4	% —

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	当 期 末			評 価 額		償還年月日
		種 類	年 利 率	額面金額	外貨建金額	邦貨換算金額	
					千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ	Star Helios Plc	社債券	% —	5,480	千アメリカ・ドル 3,090	千円 460,270	2029/01/19

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) クーポンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

■投資信託財産の構成

2025年2月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	460,270	92.9
コール・ローン等、その他	35,301	7.1
投資信託財産総額	495,571	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝148.92円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(444,509千円)の投資信託財産総額(495,571千円)に対する比率は、89.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年2月26日現在

項 目	当 期 末
<b>(A)資産</b>	<b>964,845,246円</b>
コール・ローン等	10,465,456
公社債（評価額）	460,270,022
未収入金	493,778,170
その他未収収益	331,598
<b>(B)負債</b>	<b>492,313,056</b>
未払金	486,222,320
未払収益分配金	2,736,810
未払解約金	318
未払信託報酬	3,325,686
その他未払費用	27,922
<b>(C)純資産総額（A－B）</b>	<b>472,532,190</b>
元本	547,362,025
次期繰越損益金	74,829,835
<b>(D)受益権総口数</b>	<b>547,362,025口</b>
1万口当り基準価額（C／D）	8,633円

\*期首における元本額は638,978,448円、当作成期間中における追加設定元本額は4,173,432円、同解約元本額は95,789,855円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は8,633円です。

\*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は74,829,835円です。

■損益の状況

当期 自2024年8月27日 至2025年2月26日

項 目	当 期
<b>(A)配当等収益</b>	<b>34,457,404円</b>
受取利息	34,171,402
その他収益金	286,002
<b>(B)有価証券売買損益</b>	<b>45,871,870</b>
売買益	75,543,976
売買損	△ 121,415,846
<b>(C)信託報酬等</b>	<b>3,419,041</b>
<b>(D)当期損益金（A＋B＋C）</b>	<b>14,833,507</b>
<b>(E)前期繰越損益金</b>	<b>70,582,273</b>
<b>(F)追加信託差損益金</b>	<b>13,322,755</b>
（配当等相当額）	（ 182,482,877）
（売買損益相当額）	（△ 169,160,122）
<b>(G)合計（D＋E＋F）</b>	<b>72,093,025</b>
<b>(H)収益分配金</b>	<b>2,736,810</b>
次期繰越損益金（G＋H）	△ 74,829,835
追加信託差損益金	13,322,755
（配当等相当額）	（ 182,482,877）
（売買損益相当額）	（△ 169,160,122）
分配準備積立金	185,563,027
繰越損益金	△ 273,715,617

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	31,038,363円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	182,482,877
(d) 分配準備積立金	157,261,474
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	370,782,714
(f) 分配金	2,736,810
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	368,045,904
(h) 受益権総口数	547,362,025口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 （ 税 込 み ）	50円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

（年2回決算型）為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	( 分 配 落 )	税 分 配 込 金	期 騰 落	中 率		
14期末 (2023年2月27日)	円 11,228	円 350	△	% 10.2	% 98.6	百万円 4,336
15期末 (2023年8月28日)	11,442	350		5.0	99.3	4,296
16期末 (2024年2月26日)	12,164	350		9.4	99.4	3,940
17期末 (2024年8月26日)	12,833	350		8.4	98.7	3,526
18期末 (2025年2月26日)	12,948	350		3.6	98.8	3,501

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

期首：12,833円

期末：12,948円（分配金350円）

騰落率：3.6%（分配金込み）

### 基準価額の主な変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し運用した結果、米ドルが対円で上昇（円安）したことや、米国リートおよび米国バンクローンが上昇したことなどから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	円	騰 落 率 %	
(期 首) 2024年 8月26日	12,833	—	98.7 %
8月末	12,886	0.4	97.6
9月末	13,132	2.3	98.3
10月末	13,968	8.8	99.0
11月末	14,109	9.9	98.0
12月末	13,426	4.6	98.0
2025年 1月末	13,455	4.8	98.3
(期 末) 2025年 2月26日	13,298	3.6	98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2024. 8. 27 ~ 2025. 2. 26)

### ■米国リート市況

データセンターやヘルスケア関連銘柄は上昇しましたが、物流施設や通信インフラは下落しました。

米国リート市況は、当作成期首より、製造業や雇用、物価関連の経済指標の結果などを背景に、2024年9月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）に向けて利下げ織り込みが加速したことなどから、上昇しました。10月は、雇用統計や小売売上高が市場予想を上回る堅調な結果だったことや、大統領選挙をめぐる不確実性が意識されたことなどを背景に長期金利が上昇したことから、軟調に推移しました。11月は、大統領・連邦議会選挙でトランプ氏・共和党の勝利が確実となる中で、次期政権の経済政策への期待や財務長官人事による財政への安心感からリスク選好姿勢が高まり、上昇しました。12月は、底堅い経済指標の結果や、FRB（米国連邦準備制度理事会）が2025年以降の政策金利・経済見通しを引き上げたことから長期金利が上昇したことなどを背景に、下落しました。2025年1月前半は、堅調な労働市場を背景とした長期金利の上昇により軟調に推移しましたが、月後半はインフレの鈍化が確認されたことで長期金利が低下し、堅調に推移しました。その後、当作成期末にかけては、小売売上高が市場予想を下回るなど、軟調な経済指標が散見されたことで長期金利が低下し、堅調に推移しました。

### ■米国バンクローン市況

米国バンクローン市況は上昇しました。

米国バンクローン市況は、米国景気の先行きに対する不透明感が強まった場面では軟調な局面もありましたが、当作成期を通じて、総じて良好な米国経済指標の発表やバンクローンの安定的なインカム収益が下支えとなり、堅調に推移しました。

### ■為替相場

米ドルは対円で上昇しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、米国金利の低下による日米金利差の縮小や自民党総選挙の結果などから、円高基調となりました。しかし2024年10月に入ると、米国金利が大きく上昇したことで日米金利差の拡大が意識され、円安米ドル高が大きく進行しました。11月に入っても、米国金利の上昇に連れて円安米ドル高基調となりましたが、米国金利が低下に転じたことや日銀総裁が利上げを継続する方針を示したことなどから、月半ばに円高に転じました。しかし12月に入ると、米国金利が上昇したことや、日銀が金融政策決定会合において政策金利を据え置いたことなどから、円安が進行しました。2025年1月に入ると、おおむね日米金利差の動きに連れる展開とな

り、日銀が月内の金融政策決定会合において利上げを行う可能性が高まったことで、円高に転じました。2月は、おおむね米国金利の動きに連れる展開となり米国金利の低下を受けて、円高米ドル安となりました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス(※)」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

※G I M トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

## ポートフォリオについて

(2024. 8. 27 ~ 2025. 2. 26)

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

### (ご参考) 「G I M トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の組入上位銘柄

銘柄名	資産	通貨	利率(%)	償還日	比率
MEDLINE BORROWER LP	バンクローン	米ドル	7.10	2028/10/23	1.4%
GENESYS CLOUD SERVICES HOLDINGS I, LLC	バンクローン	米ドル	7.36	2027/12/1	1.3%
CCO HOLDINGS LLC / CCO HOLDINGS CAPITAL CORP	社債	米ドル	4.75	2030/3/1	1.3%
AADVANTAGE LOYALTY IP LTD.	バンクローン	米ドル	9.30	2028/4/20	0.9%
WEC US HOLDINGS LTD.	バンクローン	米ドル	6.92	2031/1/27	0.9%
IHEARTCOMMUNICATIONS, INC.	バンクローン	米ドル	10.39	2029/5/1	0.9%
KDC/ONE DEVELOPMENT CORPORATION, INC.	バンクローン	米ドル	8.37	2028/8/15	0.8%
OSMOSE HOLDINGS, INC	バンクローン	米ドル	7.72	2028/6/23	0.8%
MADISON IAQ LLC	バンクローン	米ドル	6.76	2028/6/21	0.8%
PIKE CORPORATION	バンクローン	米ドル	7.47	2028/1/21	0.8%

(注1) 上記データは2025年1月31日の前営業日現在のものです。

(注2) 比率は「G I M トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド」の純資産に対する比率です。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2024年8月27日 ～2025年2月26日	
<b>当期分配金（税込み）</b>	<b>(円)</b>	<b>350</b>
対基準価額比率	(%)	2.63
当期の収益	(円)	350
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	7,585

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### ■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	829.63円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		4,289.93
(d) 分配準備積立金		2,816.22
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		7,935.78
(f) 分配金		350.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		7,585.78

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M  
トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2024. 8. 27~2025. 2. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	85円	0.627%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13,495円です。
（投 信 会 社）	(26)	(0.194)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(56)	(0.416)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.017)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.010	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	86	0.636	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

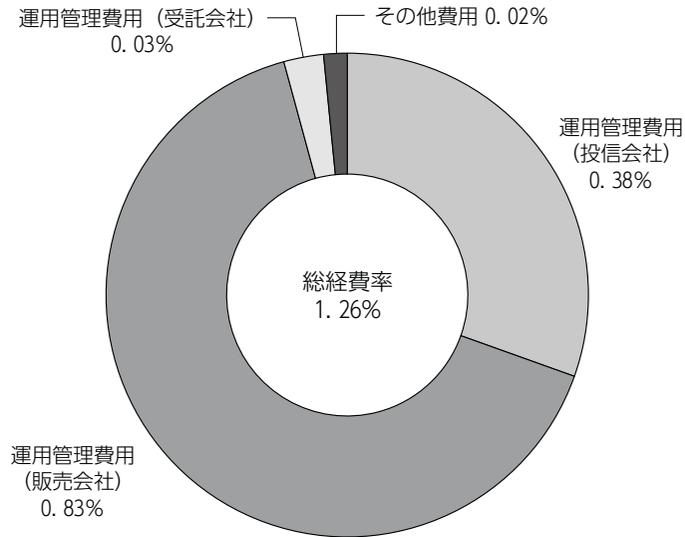
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.26%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

\*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかりました。

純資産総額に対して年率0.604%（税込）程度、その他各種費用等

ダイワ米国リート・プラス（年2回決算型）為替ヘッジなし

■売買および取引の状況

公社債

(2024年8月27日から2025年2月26日まで)

		買付額	売付額
外国	アメリカ 社債券	千アメリカ・ドル 2,484	千アメリカ・ドル 1,800
		( )	( )

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。  
 (注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公社債

(2024年8月27日から2025年2月26日まで)

当 期		付	
買	付	売	付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
Star Helios Plc (アイルランド) - floating - 2029/1/19	千円 372,967	Star Helios Plc (アイルランド) - floating - 2029/1/19	千円 268,924

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期 区 分	額面金額	評 価 額		当 期 末		残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 41,190	千アメリカ・ドル 23,231	千円 3,459,584	% 98.8	% —	% —	% 98.8	% —

- (注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。  
 (注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。  
 (注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。  
 (注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	当 期 末			評 価 額		償還年月日
		種 類	年 利 率	額面金額	外貨建金額	邦貨換算金額	
					千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ	Star Helios Plc	社債券	% —	41,190	23,231	3,459,584	2029/01/19

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) クーポンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

■投資信託財産の構成

2025年2月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	3,459,584	95.6
コール・ローン等、その他	160,838	4.4
投資信託財産総額	3,620,423	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝148.92円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（3,470,986千円）の投資信託財産総額（3,620,423千円）に対する比率は、95.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年2月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,620,423,170円
コール・ローン等	158,799,395
公社債（評価額）	3,459,584,347
その他未収収益	2,039,428
(B) 負債	118,596,833
未払収益分配金	94,659,944
未払信託報酬	23,773,259
その他未払費用	163,630
(C) 純資産総額（A－B）	3,501,826,337
元本	2,704,569,831
次期繰越損益金	797,256,506
(D) 受益権総口数	2,704,569,831口
1万口当り基準価額（C／D）	12,948円

\* 期首における元本額は2,747,797,702円、当作成期間中における追加設定元本額は259,752,819円、同解約元本額は302,980,690円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,948円です。

■損益の状況

当期 自2024年8月27日 至2025年2月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	248,523,528円
受取利息	246,685,573
その他収益金	1,837,955
(B) 有価証券売買損益	△ 113,142,992
売買益	139,199,348
売買損	252,342,340
(C) 信託報酬等	△ 24,142,955
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	111,237,581
(E) 前期繰越損益金	360,860,566
(F) 追加信託差損益金	419,818,413
(配当等相当額)	( 1,160,242,262)
(売買損益相当額)	(△ 740,423,849)
(G) 合計（D＋E＋F）	891,916,450
(H) 収益分配金	△ 94,659,944
次期繰越損益金（G＋H）	797,256,506
追加信託差損益金	419,818,413
(配当等相当額)	( 1,160,242,262)
(売買損益相当額)	(△ 740,423,849)
分配準備積立金	891,387,506
繰越損益金	△ 513,949,413

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	224,380,573円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	1,160,242,262
(d) 分配準備積立金	761,666,877
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,146,289,712
(f) 分配金	94,659,944
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,051,629,768
(h) 受益権総口数	2,704,569,831口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 ( 税 込 み )	350円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。